

岩手県知事 達増 拓也 殿

〔設置者の名称〕 学校法人コアトレース

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 久保 榮子

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

## ○申請者に関する情報

大学等の名称	岩手公務員・医療・ビジネス専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ <u>専門学校</u> )
大学等の所在地	岩手県盛岡市菜園二丁目 4 - 1 9
学長又は校長の氏名	及川 明彦
設置者の名称	学校法人コアトレース
設置者の主たる事務所の所在地	岩手県盛岡市菜園二丁目 4 - 1 9
設置者の代表者の氏名	久保 榮子
申請書を公表する予定のホームページアドレス	http://saien.ac.jp/

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知していません。 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。 この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を

取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるととも  
に、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等  
を減免する義務があることを承知しています。

- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号  
及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	教育企画推進室 瓜田 華菜子	019-623-6171	urita@iwakou.ac.jp
第2号の1			
第2号の2			
第2号の3			
第2号の4			

○添付書類

- ※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これ  
らの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異な  
ることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の  
基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定  
める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映するこ  
とができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定  
める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岩手公務員・医療・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人コアトレース 理事長 久保 榮子

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	総合学科 公務員ビジネスコース	夜・通信		160	※
	総合学科 医療ビジネスコース	夜・通信	525	160	
	教養学科 公務員専修コース	夜・通信		80	※
(備考) 令和3年度より教育課程を変更。1年：新課程、2年：旧課程					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名	総合学科（公務員ビジネスコース） 教養学科（公務員専修コース）
(困難である理由) 上記の※印記載のコースについては公務員試験対策を主とするコースであり、実務経験を生かした実践的な教育という要件を満たすことが困難である。	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岩手公務員・医療・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人コアトレース 理事長 久保 榮子

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://iwakou.ac.jp/pg2185.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	有限会社役員	2019.4.1～ 2023.3.31 4年	理事会に出席し、法人本部の資料に基づき、この法人の業務を決する
非常勤	株式会社役員	2019.4.1～ 2023.3.31 4年	理事会に出席し、法人本部の資料に基づき、この法人の業務を決する
(備考) 学外者である理事は合計4名である。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手公務員・医療・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人コアトレース 理事長 久保 榮子

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画については、各科目担当者が「授業のねらいと概要」「授業計画」「授業の到達目標」「教科書」「評価方法」等について作成し、教務主任を中心に取りまとめ、系統毎に集約して作成している。</li> <li>・年度初めに、冊子として生徒へ配付、並びにホームページへの公表を行っている。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定方法・基準は以下の通り生徒へ提示し、評価を行っている。</p> <p>●学生便覧P13 「2. 履修の手引き」より</p> <p>6. 学習評価と単位の認定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位の認定は考查の結果による学習評価と出席時数の充足を基に判定する。</li> <li>・本校の教育課程の出席時数が3分の2に満たない者は単位の認定はしない。</li> </ul> <p>●学生便覧P14 「学習評価」より</p> <p>単位認定試験</p> <p>定期考查は、前期(4月～9月)・後期(10月～3月)の2回とする。ただし、半期をもって終了する場合には1回とする。</p> <p>学習成績の評価</p> <p>成績評価は、A(80点以上)、B(79点～65点)、C(64点～50点)、D(50点未満)の4段階とし、D評価は不合格とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・成績は100点満点の本校基準により「A、B、C、D」の4段階として評価し、点数の平均値を基に成績の分布状況を指標として設定している。</p> <p>以上の基準により、客観的な指標を設定し数値を算出して、適切に実施している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p><a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業については以下の通り生徒へ提示し、認定を行っている。</p> <p>●学生便覧P14 「学習評価」より</p> <p>1 進級および卒業の認定は学則第24条の規定により、職員会議を経て学校長が認定する。</p> <p>単位認定試験</p> <p>定期考査は、前期（4月～9月）・後期（10月～3月）の2回とする。ただし、半期をもって終了する場合には1回とする。</p> <p>●学生便覧P15 「2. 履修の手引き」より</p> <p>・所定の課程を修了した者には、卒業を認める。</p> <p>ただし、学科目及び学習の成績が合格基準に達しないときには卒業を認めない。</p> <p>以上の基準により、卒業判定会議を経て所定の課程の単位修得の認定を受け、卒業認定がされる。</p> <p>【ディプロマ・ポリシー】</p> <p>また本校は、次の能力を修得し、所定の課程を修了したものに、卒業を認定する。</p> <p>●勤労と責任を重んじ、全体の奉仕者に相応しい社会人基礎力を持つ人材</p> <p>●超高齢社会にあつて、多様化、複雑化する医療現場に貢献できる人材</p> <p>●高いコミュニケーション能力と倫理観を有し、責任ある行動の取れる人材</p> <p>以上の求める人材像への到達度も加味し、卒業認定を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岩手公務員・医療・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人コアトレース 理事長 久保 榮子

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
財産目録	<a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
事業報告書	<a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
監事による監査報告（書）	<a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

(1)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	総合学科 行政ビジネスコース 公安スポーツコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間	1350 単位時間	360 単位時間			
			1710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
学科全体の 総定員数 80人の内数		5人	0人	学校全体の 専任教員 6人の内数	学校全体の 兼任教員 23人の内数	学校全体の 総教員数 29人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業は、講義・演習・実習により、公務員試験対策および就職対策に係る知識・技術の習得する内容となっている。 授業計画については、各科目担当者が「授業のねらいと概要」「授業計画」「授業の到達目標」「教科書」「評価方法」等について作成し、系統毎に集約して作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は、学期末に行う考査の結果による学習評価と出席時数の充足を基に判定する。ただし、本校の教育課程の出席時数が3分の2に満たない者は単位の認定は

<p>しない。</p> <p>学習評価は、前期(4月～9月)・後期(10月～3月)各学期の定期試験(期末試験)、出席状況及び平常の学習態度に基づいて行う。成績評価は、A(80点以上)、B(79点～65点)、C(64点～50点)、D(50点未満)の4段階とし、D評価は不合格とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年より第2学年に進級するためには、第1学年の履修科目全ての単位の認定がされなければならない。認定されない場合は原級留置きとする。</li> <li>・所定の課程を修了した者には、卒業を認める。ただし、学科目及び学習の成績が合格基準に達しないときには卒業を認めない。</li> </ul>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>担任制・少人数制により、きめ細やかな指導を行っている。面談による学修・就職支援を随時実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	4人 (80%)	1人 (20%)
(主な就職、業界等) 公務員、その他民間企業			
(就職指導内容) 進路希望調査、面談、募集要項・求人票閲覧、書類記入指導、面接対策、試験後指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) 漢字検定、社会人常識マナー検定、文書処理能力検定、簿記能力検定、ファイナンシャルプランニング検定、ITパスポート、文章読解・作成能力検定ほか			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前に進路とカリキュラムの整合性確認、ならびに入学後の綿密な面談		



(2)

## ○新教育課程

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	総合学科 医療ビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間	1110 単位時間	420 単位時間	180 単位時間		
			1710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
学科全体の 総定員数 80 人の内数		20 人	0 人	学校全体の 専任教員 6 人の内数	学校全体の 兼任教員 23 人の内数	学校全体の 総教員数 29 人の内数	

## ○旧教育課程

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	総合学科 医療ビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間	1110 単位時間	420 単位時間	180 単位時間		
			1710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
学科全体の 総定員数 80 人の内数		20 人	0 人	学校全体の 専任教員 6 人の内数	学校全体の 兼任教員 23 人の内数	学校全体の 総教員数 29 人の内数	

## カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

授業は、講義・演習・実習により、医療系各種検定試験および就職対策に係る知識・技術の習得する内容となっている。

授業計画については、各科目担当者が「授業のねらいと概要」「授業計画」「授業の到達目標」「教科書」「評価方法」等について作成し、系統毎に集約して作成している。

## 成績評価の基準・方法

(概要)

成績評価は、学期末に行う考査の結果による学習評価と出席時数の充足を基に判定する。ただし、本校の教育課程の出席時数が3分の2に満たない者は単位の認定はしない。

学習評価は、前期(4月～9月)・後期(10月～3月)各学期の定期試験(期末試験)、出席状況及び平常の学習態度に基づいて行う。成績評価は、A(80点以上)、B(79点～65点)、C(64点～50点)、D(50点未満)の4段階とし、D評価は不合格とする。

卒業・進級の認定基準
(概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年より第2学年に進級するためには、第1学年の履修科目全ての単位の認定がされなければならない。認定されない場合は原級留置とする。</li> <li>・所定の課程を修了した者には、卒業を認める。ただし、学科目及び学習の成績が合格基準に達しないときには卒業を認めない。</li> </ul>
学修支援等
(概要) 担任制・少人数制により、きめ細やかな指導を行っている。面談による学修・就職支援を随時実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	15人 (88.2%)	2人 (11.8%)
(主な就職、業界等) 医療機関、その他民間企業			
(就職指導内容) 進路希望調査、面談、募集要項・求人票閲覧、書類記入指導、面接対策、試験後指導			
(主な学修成果（資格・検定等）)  日本歯科医師会認定歯科助手、メディカルフロント・コンシェルジュ、介護職員初任者研修、診療報酬請求事務能力検定、医療事務管理士、医療秘書技能検定、医師事務作業補助技能認定試験、医事コンピュータ技能検定試験、メンタルヘルス・マネジメント検定ほか			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前に進路とカリキュラムの整合性確認、ならびに入学後の綿密な面談		

(3)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	教養学科 公務員専修コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	810 単位時間	630 単位時間	180 単位時間			
			810 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
学科全体の 総定員数 40 人の内数		32 人	0 人	学校全体の 専任教員 6 人の内数	学校全体の 兼任教員 23 人の内数	学校全体の 総教員数 29 人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>授業は、講義・演習・実習により、公務員試験対策および就職対策に係る知識・技術の習得する内容となっている。</p> <p>授業計画については、各科目担当者が「授業のねらいと概要」「授業計画」「授業の到達目標」「教科書」「評価方法」等について作成し、系統毎に集約して作成している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価は、学期末に行う考査の結果による学習評価と出席時数の充足を基に判定する。ただし、本校の教育課程の出席時数が3分の2に満たない者は単位の認定はしない。</p> <p>学習評価は、前期(4月～9月)・後期(10月～3月)各学期の定期試験(期末試験)、出席状況及び平常の学習態度に基づいて行う。成績評価は、A(80点以上)、B(79点～65点)、C(64点～50点)、D(50点未満)の4段階とし、D評価は不合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年より第2学年に進級するためには、第1学年の履修科目全ての単位の認定がされなければならない。認定されない場合は原級留置きとする。</li> <li>・所定の課程を修了した者には、卒業を認める。ただし、学科目及び学習の成績が合格基準に達しないときには卒業を認めない。</li> </ul>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>担任制・少人数制により、きめ細やかな指導を行っている。面談による学修・就職支援を随時実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	18人 (90%)	2人 (10%)
（主な就職、業界等） 公務員、その他民間企業			
（就職指導内容） 進路希望調査、面談、募集要項・求人票閲覧、書類記入指導、面接対策、試験後指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 漢字検定、社会人常識マナー検定、文書処理能力検定、簿記能力検定、ファイナンシャルプランニング検定、ITパスポート、文章読解・作成能力検定ほか			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	2人	7.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 入学前に進路とカリキュラムの整合性確認、ならびに入学後の綿密な面談		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
総合学科 公務員ビジネスコース	100,000円	600,000円	280,000円	その他：維持費、 施設設備費、 教材費
教養学科 公務員専修コース				
総合学科 医療ビジネスコース		500,000円	390,000円	
修学支援（任意記載事項）				
学力試験・部活動の成績・取得資格に応じランクを設定し、最大で2年間の学費全額免除となる特待生制度を設定している。				

## b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>○基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者評価は、「学校法人コアトレース自己点検・評価規定」により実施された結果をもとに行う。</li> <li>・評価活動を通じたコミュニケーションにより、学校側との理解を深める。</li> <li>・学校と一緒に生徒のことを考え、それぞれの立場、視点から意見を出し合うことで「よりよい学校作り」の一助とする。</li> <li>・「学校関係者評価」を基に、学校関係者委員会が当該校に「改善提案」を行い、教育活動や学校運営等に反映させる。</li> </ul> <p>○評価委員会の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会は、企業の専門家、医療・福祉の有識者、保護者、地域住民等の学校関係者により構成された「学校関係者委員」により組織する。</li> <li>・委員の定員は、5名を原則とする。</li> <li>・委員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。</li> </ul> <p>○評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目に則り、学校が設定する評価項目内容で評価をしている。①教育理念②学校運営③教育活動④教育成果⑤生徒支援⑥教育環境⑦生徒募集と受入⑧財務⑨法令等の遵守⑩社会貢献</li> </ul> <p>○評価の実施</p> <p>原則として1年間に1回学校関係者評価委員会を開催している。 なお、学校関係者評価委員会開催前に、上記評価項目で実施した「自己点検・評価」の資料を配布する。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
岩手県歯科医師会 常務理事	2019年12月1日～ 2021年3月31日(2年)	企業等委員
株式会社盛岡中央劇場 取締役社長	2019年12月1日～ 2021年3月31日(2年)	企業等委員
盛岡市職員	2019年12月1日～ 2021年3月31日(2年)	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

## c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
--